

誰もが未来に希望を見出すために
～「やりたい」が仕事になる世界へ～

藤沢市子ども・若者委員会 ライフデザインチーム

目次

1.タイトル

2.目次

3.メンバー紹介

4.目指すビジョン

5.テーマ設定の理由

6.注目した課題

7.かわせみボイスで届いた声

8.提案

10.先行事例

11.提案内容

14.将来的な藤沢市のカタチ

ライフデザインチーム

メンバー紹介

高校名

横浜隼人高校

湘南一ツ星高等学院

茅ヶ崎高校

湘南工科大学附属高等学校

辻

服部

虻川

仲村

木原

目指すビジョン

- 誰もが生まれ、育ち、環境に関係なく
自由に将来を選択出来るように
- いつでも、どんな時も頼れる大人、機関の確立
- やりたいことを誰もが見つけられる環境を作る

テーマの設定理由

- ・自分たちが進路選択をする上で将来何をやりたいのか明確なビジョンがなく困ったこと

かわせみボイスの声

- ・いろんな職業を知る機会が欲しい
- ・やりたいことを出来ない環境が存在する現状

注目した課題

将来の夢がある中高生は約半数のみ！

→半数はまだ**何になりたいのかわからず**に勉強している現状...

今の中高生は課題に直面したらまず**動いてみる**人が多い！

将来の夢がないという課題を解決していくためには職業体験など実践的な授業を取り入れ職業観をつかむことで解決へ

<https://fujisawa-city-kodomo.liqlid.jp/>

かわせみボイスで届いた声

自分で選んだ仕事を肯定してほしい。

正直楽しみだとか働きたいなどは思っていない。

歳を重ねるにつれ、夢がなくなっていくと感じている。でも将来自分が幸せだったならなんでもおっけー！

学校では弁護士の方とか助産師の方とかの話は聞けるけど、バリエーションをもっと増やして欲しい

例えば農家の方とか幼稚園教諭の方とかテーマパークのキャストの方とかコールセンターの方とかもっと身近な職業の話も聞きたい

そうしたらもっと色々な視点から働くことについて考えられると思う

提案

実際に働いている人から仕事内容ややりがいを聞ける授業を中高生に

→いろいろな職業を知ることによって自分の職業観を広げる

自分自身の興味関心、自己理解を深める「自分史」を作り、理解する

→進学するうえでの「自分って何がしたいんだろう」という悩みを減らす

職業体験的な実践型授業を導入し、体験を通じて知る

→3年以内の転職率が35%の現状...

実践型授業を通して職業へのギャップを減らす

理想の中高生像

中1 職業、行政について「知る」機会を設ける

中2 職業体験

中3 自分のやりたいことについて考える

高1 職業のことを知る

高2 「やりたいこと」で大学選び、進路選択

高3 将来のことを鮮明に思い描けるように！

高2くらいまでにやりたいことを
発見できるようになろう！

先行事例

導入県：愛知県 名古屋市

事業名：名古屋市立の小・中・高等学校・特別支援学校におけるキャリア教育支援事業。

目的：自分らしい生き方を実現していくキャリア発達を促すため

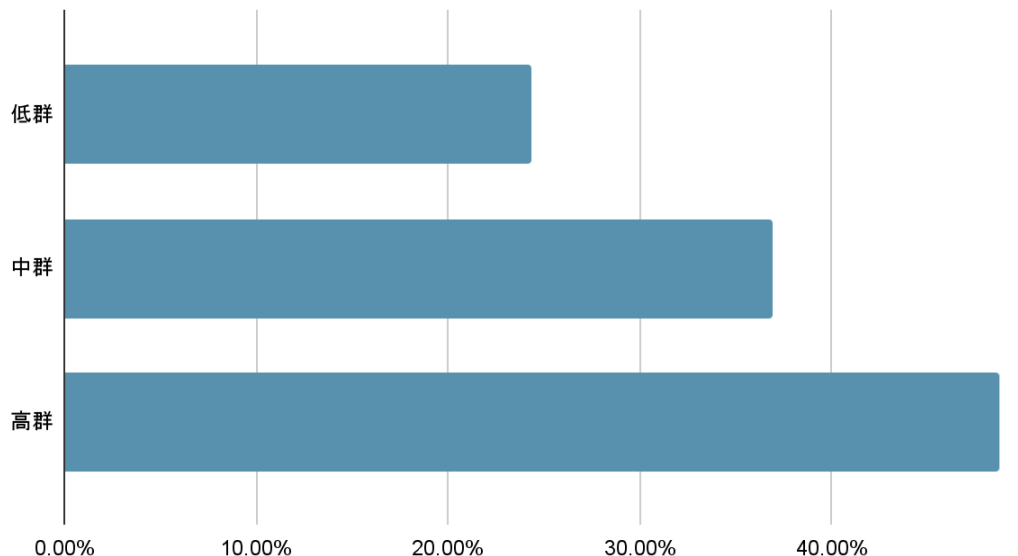
内容：キャリアタイム（学校内での授業）で実際に職業についているヒト・モノ・コトなどに触れる



藤沢市にもキャリア教育を！！！！

キャリア教育の充実度の高い学校の方が学習意欲向上の傾向がある！

キャリア教育の実施別に見た学習意欲の向上の認識率



国立教育政策研究所 『キャリア教育・進路指導
に関する総合的実態調査第一次報告書』 より

https://www.nier.go.jp/shido/centerhp/career_jittaityousa/career-report.htm

職業体験的な実践型授業 例

- ・ 学校内（市営公共施設など）で、多種多様な職種の方をお招きしてワークショップ形式で話を聞けるようにする。

→ 中1、高1の計2回に渡り開催する。

・学校に行けない人や欠席してしまうと
参加できない...

→ **市民センター**を活用！



藤沢市に存在する**13**地区で、それぞれ違う職業を知ることができるワークショップの開催

💡 リモートでチャット形式を導入し、リアルタイムで質問できることで、対面が苦手な方でも参加しやすい環境を！

将来的な藤沢市のカタチ

- ・ 職業への理解を深め、自分のやりたいことを発見
- ・ 一人ひとりの将来、**未来の可能性**を広げる
- ・ キャリア教育の充実で**教育に強い街**へ

ご清聴
ありがとうございました！